

みんなくりポジトリ

国立民族学博物館 学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

SER no.100; Cover, contents, and others

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-01-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10502/00009319

国立民族学博物館

調査報告

100

土方久功日記 Ⅲ

土方久功 著

須藤健一・清水久夫 編

国立民族学博物館 2011

国立民族学博物館 調査報告

100

土方久功日記 III

土方久功 著

須藤健一・清水久夫 編

国立民族学博物館

2011

目 次

序 文 須藤健一・清水久夫 i

第Ⅰ部 土方久功日記Ⅲ

土方久功日記 第13冊 (1929年4月16日～7月26日) 3

土方久功日記 第14冊 (1929年7月27日～12月14日) 73

土方久功日記 第15冊 (1929年12月15日～1930年7月13日) 185

土方久功日記 第16冊 (1930年7月14日～11月27日) 291

土方久功日記 第17冊 (1930年11月28日～1931年4月17日) 381

土方久功日記 第18冊 (1931年4月18日～1932年2月10日) 473

註 573

第Ⅱ部 附 論

土方久功とモデクゲイ 清水久夫 589

土方久功が住んだパラオ——植民地としての歴史 須藤健一 599

凡 例

- 一 本書は、土方久功の自筆日記を翻刻したものである。
- 一 日記の本文は、第13冊・第14冊は、横書きの大学ノートに縦書きで、左から右へ書き進められているが、翻刻にさいしては、横書きに改めた。なお、第15冊～18冊の日記の本文は、横書きである。
- 一 大学ノートの罫線の枠外に書かれた文字は、〔 〕内に記し、書かれた場所を、〔 〕内に示した。
- 一 欠損文字、抹消された文字は、□等の符号を用い、判読できる部分は□の上部に文字を入れた。
- 一 誤字と思われる文字は、原文のまま記し、上部に〔ママ〕と記すか、上部の〔 〕内に正しい文字を入れた。また、疑問のある文字については、〔○○カ〕と記した。
- 一 「㊦」は「事」、「㊦」は「トキ」と表記した。
- 一 人名、地名等の固有名詞の表記が一貫していないものがあるが、統一せずに、日記の表記のままとした。
- 一 人名、地名等内容の説明に関する編者の註は、右上に番号を付し、末尾に順に記した。
- 一 原文のままでは理解しがたい文字は、上部の〔 〕内の文字で補った。
- 一 便宜上、適宜句読点を加えた。
- 一 旧漢字は、一部を除き、当用漢字に改めた。
- 一 連続した同じ事柄が数日間にわたって記述されている部分は、原文にならって、その事柄の記述の最後の部分と翌日のその記述の最初の部分にそれぞれ矢印を付し、記述が連続したものであることを示した。
- 一 日記の末尾等に記された、図書等からの抜粋は、省略した。
- 一 日記には、現在では差別語とされる用語が用いられているが、その時代の歴史的な用語と考え、原文のままとした。
- 一 本書の刊行に際し、土方久功のご遺族および知人の方々から資料を提供され、示教を得た。深謝の意を表したい。

Senri Ethnological Reports (最新号)

- No.99 *Research Notes on the Zhangzhung Language by Frederick W. Thomas at the British Library* (Bon Studies 14) (2011; eds. Tsuguhito Takeuchi, Burkhard Quessel and Yasuhiko Nagano; 英語)
- No.98 *A Great Tibetan-Mongolian Lexicon* [CD-ROM] (2011; eds. Urianhai L. Terbish, Urianhai T. Chuluun-Erdene; チベット語、モンゴル語)
- No.97 海洋環境保全の人類学——沿岸水域利用と国際社会 (2011; 松本博之編; 日本語)
- No.96 *Socialist Devotees and Dissenters* (2011; Interviews conducted by Yuki Konagaya, I. Lkhagvasuren, translated by Mary Rossabi, edited and compiled by Morris Rossabi; 英語)
- No.95 *Bonpo Thangkas from Rebkong* (Bon studies 13) (2011; ポンギャ ゲレ フンドウツップ ギャムツォ・津曲真一・立川武蔵・長野泰彦編; 英語、チベット語)
- No.94 土方久功日記Ⅱ (2010; 土方久功, 須藤健一・清水久夫編; 日本語)
- No.93 *Une version rgyalrong de l'épopée de Gesar* (Gyarong Studies 1) (2010; Guillaume Jacques and Chen Zhen, ed. Yasuhiko Nagano; フランス語)
- No.92 *ТУВА ВЕК СПУСТЯ ПОСЛЕ КАРПУТЕРСА И МЕНХЕН-ХЕЛЬФЕНА* (2010; М.В. МОНГУШ (マリナ・モンゲーシュ); ロシア語)
- No.91 *ОДИН НАРОД: ТРИ СУДЬБЫ* Тувинцы России, Монголии и Китая в сравнительном контексте (2010; М.В. МОНГУШ (マリナ・モンゲーシュ); ロシア語)
- No.90 人類学的比較再考 (2010; 出口顯・三尾稔編; 日本語)
- No.89 土方久功日記Ⅰ (2010; 土方久功, 須藤健一・清水久夫編; 日本語)
- No.88 *Аннотированный каталог архивных материалов по бурятскому шаманизму Центра Восточных Рукописей и Ксилографов Института Монголоведения, Буддологии и Тибетологии* (2009; Редактор Юки Коная, Автор-Составитель О. А. Шагланова (小長谷有紀編, オルガ А. Шяглаanova 編纂); ロシア語)
- No.87 *Palauan Children under Japanese Rule: Their Oral Histories* (2009; Maki Mita; 英語)
- No.86 梅棹忠夫著作目録 (1934-2008) (2009; 梅棹忠夫・及川昭文・松原正毅編; 日本語)
- No.85 健康・医療・身体・生殖に関する医療人類学の応用的研究 (2009; 波平恵美子編; 日本語)
- No.84 ドメスティケーション——その民族生物学的研究 (2009; 山本紀夫編; 日本語)
- No.83 移民とともに変わる地域と国家 (2009; 庄司博史編; 日本語)

[国立民族学博物館刊行物審査委員会]

須藤 健一 館長
佐々木史郎 副館長
杉本 良男 副館長
小長谷有紀 民族社会研究部
八杉 佳穂 民族文化研究部
岸上 伸啓 先端人類科学研究部
西尾 哲夫 研究戦略センター（研究出版委員長）
朝倉 敏夫 文化資源研究センター

平成23年11月30日発行

国立民族学博物館調査報告 100

著者 土方久功
編者 須藤健一
清水久夫

発行 人間文化研究機構
国立民族学博物館
〒565-8511 吹田市千里万博公園10-1
TEL. 06(6876)2151(代表)

印刷 株式会社 遊文舎
〒532-0012 大阪市淀川区木川東4-17-31
TEL. 06(6304)9325(代表)

Senri Ethnological Reports

100

**The Diary of
Hisakatsu Hijikata (Ⅲ)**

Hisakatsu Hijikata

Edited by

Ken'ichi Sudo

Hisao Shimizu

**National Museum of Ethnology
2011 Osaka**

**ISSN 1340-6787
ISBN 978-4-901906-86-9 C3039**